

新たな出会いに

4月といえば新たな出会いのときです。今年度は学校長を含め12名の教職員が西和中学校に着任し、生徒、保護者・地域のみなさま方との新たな出会いを迎えました。

歴史ある西和中学校の伝統を受け継ぎ、さらに発展させていくために、教職員一同力を合わせてがんばってまいります。今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

2023年度がスタートしました！

きらびやかな春の日差しが感じられる4月10日、本校体育館において入学式を挙行了しました。新たな希望に満ちあふれる新入生116名を迎え入れ、2023年度は、全校生徒338名と教職員40名でのスタートとなりました。

西和中学校の教育目標は、「真剣に生きる ～からだと心と学力を育てよう～」です。この目標を達成できるように、次のような体制を組み、教職員一人ひとりが役割を担うとともに、全教職員が力をひとつにして、教育活動を進めてまいります。そして、4月11日の始業式では、西和は1つ「チーム西和」として、全校生徒そして全教職員がともに協力して頑張っていこう！というお話をさせていただきました。

また、学校の力だけで目標を達成することは簡単ではありません。学校が、保護者や地域のみなさま方と力を合わせて取り組むことによって、はじめて目標達成できると考えています。今後とも学校教育に、ご支援・ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

1年1組 担任 横山 清志	2年1組 担任 川島 崇義	3年1組 担任 岩崎 彩花
2組 担任 中平 弓子	2組 担任 水波 佳子	2組 担任 小山 慶朗
3組 担任 竹本 直樹	3組 担任 森 あかね	3組 担任 濱野 理香
4組 担任 松下 公亮		4組 担任 和田 有矢
1・3組 副担任 武内 裕子	1・2組 副担任 保科 由美子	1・3組 副担任 藤本 太司
2・4組 副担任 森下 博文	3組 副担任 新家 千秋	2・4組 副担任 新名 いぶき
向上学級 担任 辻本 有里		向上学級 担任 由井 誠
向上学級 担任 滝吉 博美		

校長 川嶋 幸夫 教頭 椿 幸子
学習支援推進教員 鈴木 健太・森田 光祐・宮本 宗弥 生徒指導 峯尾 守
養護教諭 玉置 あゆみ・刀根 清 拠点校指導員 秋山 博紀 英語少人数授業 服部 京子
特別支援教育支援員 嶋崎 貴之 事務 北川 朗大 校務員 三栖 弘 販売 岡崎 富美
県学力アップ 坂口 篤司・戒田 洋子 訪問支援員 辻中 宏誠
スクールサポートスタッフ 京谷 由佳 スクールカウンセラー 太田 歩美
スクールソーシャルワーカー 杉谷 美智子

今月の言葉 『いまから ここから』

「いまから ここから」相田みつをさんの詩です。人間が命を与えられているのは、時間的には昨日でもなく明日でもなく、まさに「いま」。空間的には、東でも西でもなく、まさに「ここ」。

何をするにも、スタートはいつも「いまから ここから」なのです。そっと背中を押してくれるような温かさ、そして、どんな困難な状況でも、新たな一步を踏み出そうとする強い意志が感じられる言葉だと思います。

「いまから ここから」自分の可能性を信じ、夢を持って、地道な努力を積み重ねていきたいものです。

時が過ぎるのは早いもので、5月もすでに後半、汗ばむほどの暑さを感じる日もあり、生徒の皆さんの服装も涼しげな白い夏服や夏の体操服姿が増えています。

学校では家庭訪問や部活動の春季大会などを終え、ゴールデンウィークを過ぎたあたりから授業も本格的になっています。そして、今は1学期の中間テスト期間に入りました。定期テストは、授業で学んだことがきちんと身についているか、授業や家庭学習への取り組み方はどうだったか等、一人一人が自分の学習について確かめる機会となります。学習してきた内容を確認し、計画的に取り組んで今後につなげてください。

「学ぶ」って？

校内に「学び方のすすめ」という掲示物があります。立ち止まって見た人はどれだけいるのでしょうか？
例えば、授業の受け方では、下のような内容が示されています。

- ① 先生から指示されたことにはきちんと取り組む
- ② 先生が書いた黒板をていねいに写す
- ③ 学習した内容を自分がわかりやすいように整理してノートを書く
- ④ わからないことは友達や先生に質問して解決している
- ⑤ 自分が理解したことを相手に伝えることができる
- ⑥ 友達の説明を聞いて、参考にしたり、自分の意見と比較したりして、自分の考えを整理する

番号が進むほど、学び方のSTEPが高まっていきます。

「①や②、③なら、できているよ」という人はたくさんいると思います。④あたりからは、自分から進んで行動しなければならぬので、少し苦手な人も出てくるかもしれません。でも、⑤や⑥ができるようになると、教えてもらったことが自分のものになったと言えると思います。



【学びあいの授業の様子】

「学ぶ」とは、物事や人物、まわりの出来事を通して、自分自身で考えたり、練習したりしたことを積み上げて、自分自身を作り上げていくことです。

また、先生だけでなく、まわりの友達や自分の経験からも「学ぶ」ことはできます。ちょっと難しい面もあるかもしれませんが、自分ができることから始めて、学び方のSTEPを高める努力をしていきましょう。

今月の言葉 『和顔愛語』(わけんあいご)

「和顔愛語」とは、仏教で使われる言葉で、「和やかな顔と愛情のこもった言葉」というような意味を表しています。友達やまわりの人と接するときには笑顔で、相手を思いやった優しい言葉を使うことが大切だということを教えてくれる言葉です。

友達と意見が合わない時、攻撃的になってトゲトゲした言葉を使っていたらすぐにケンカに発展してしまいます。また、心配事や不安な気持ちがある時、まわりの人から笑顔と優しい言葉で接してもらおうとホッとして救われた気持ちになります。

朝は笑顔であいさつ。そして、誰もがお互いの気持ちを考え、笑顔と優しい言葉を交わしあえる西和中学校であってほしいと思います。